

左京はあとふるプラン

ニュースレター第13号



平成27年7月発行／京都市左京区役所地域力推進室

左京区役所では、平成23年度からの10年間のまちづくりの指針である「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画)が目指す「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ」まちづくりを進めています。

このニュースレターでは、「左京はあとふるプラン」の推進に関する情報をお伝えしていきます。

平成27年度 第1回 京都市次代の左京まちづくり会議を開催

5月20日に、平成27年度第1回京都市次代の左京まちづくり会議を開催しました。会議では、今年度、区で取り組む事業や、まちづくり活動支援交付金の申請状況の説明を行うとともに、「左京はあとふるプラン」のリーディングプロジェクトや、5年目を迎えるプランの中間点検の実施について議論しました。



様々な分野から新たに6名の委員が就任

今年度から新たに公募委員2名を含む6名の方に委員に就任いただきました。

様々な分野でご活躍されている立場からの、忌憚のないご意見を期待します。(敬称略)

◎植田元気(公募委員) ◎川見善孝(岡崎中学校PTA会長, 写真家)

◎岸野亮淳(左京区社会福祉協議会副会長) ◎鈴木千鶴子(元京都市教育委員会委員)

◎中村英男(岩倉明德学区市政協力委員連絡協議会会長) ◎橋本雪子(公募委員)

「左京はあとふるプラン」の進捗状況について

27年度の取組予定と26年度の取組の進捗状況について(意見交換の概要)

- 「美しい自然のまちづくり」に関して
 - ・若者が都市から自然や農ある暮らしを求めて北部地域に移住することを推進したい。
- 「歴史・文化・学問のまちづくり」に関して
 - ・伝統行事を守るという姿勢だけではなく、世界に発信することも必要。
 - ・花脊地域で行われている松上げは若者の参加が少ないと感じた。



区基本計画リーディングプロジェクト①

「左京の自然を愛でるプロジェクト～チマキザサの再生を左京から」

概要

左京区北部の花脊・別所地域等に分布するチマキザサは、古くから祇園祭の厄病・災難除けのお守りの粽ちまきの材料や和菓子等に使用されてきたが、笹枯れと野生鹿の食害などで絶滅の危機に瀕している。本プロジェクトでは、区民・祇園祭鉾町等との連携を図りつつ、チマキザサの再生に向けた取組を推進し、将来的に祇園祭や和菓子業界での活用復活を目指す。



若苗贈呈

27年度予定

- ①活動の周知と再生に向けた機運の醸成、支援の獲得
企業や団体等を対象に、説明会や現地見学会を開催し、活動への支援を得る。一般向けのワークショップ等も行う。
- ②市立小学校等への株分けと里帰り
祇園祭に関係の深い小学校や区内の小学校でチマキザサの若苗を育ててもらい、山に里帰りさせる。

主な意見

- ・防鹿柵の設置は着実に効果をあげている。
- ・鳥獣被害対策の一方で、動物にも優しい山にするという取組も必要である。
- ・現時点では区役所が大きな役割を果たしているが、市民レベルで自主的な取組にする必要がある。
- ・伝統文化とそれを支える産地と生産者を守る取組として大きくなりつつある。

区基本計画リーディングプロジェクト② 「まちの居場所ではっとプロジェクト@左京」

概要

左京区内で、誰もが気軽に利用できる居場所を増やし、地域での顔の見える関係づくりを進める。

27年度 予定

- ① 26年度の居場所塾を発展させ、居場所を実際に運営していく際の課題解決力が身に付く内容の連続講座を実施する。
- ② 26年度に調査し作成した居場所マップを発行する。



主な意見

- ・法を犯した少年達の社会復帰に役立つ試みとして組み合わせる仕掛けができないかと思う。
- ・高齢者や子育て世代向けのサロン等を実施するのに既存施設では足りないのが現状である。
- ・生産年齢人口が減り、左京区で1万人から2万人が新たに地域に戻ってくる。高齢者や障がい者等の居場所をこの先どう確保するかが課題である。

区基本計画リーディングプロジェクト③ 左京食文化プロジェクト「“ほんまもん”の食を楽しもう」(仮称)

概要

左京区の「食」に関するもの・ことの継承、それらを通じた食育や区北部地域と中南部地域の交流促進を目的とした事業を実施する。「食」に関わりのある多様な人材による実行委員会を設置し、シンポジウムや食文化講座等の事業を企画・実施する。



主な意見

- ・地元で作られている菜の花漬けはおいしい。プロジェクトの中で、地元の食材の掘り起こしもしてもらいたい。
- ・若い世代への継承ということであれば、講師に各学校を回ってもらい、見せる、食べるの流れのある活動があればよい。

左京区まちづくり活動支援交付金の申請状況等について

平成27年度から大学・学生と地域との協働事業を優遇するほか、重点分野部門の分野に「地域防災コミュニティマップづくり」を新設しました。また、交付団体の活動相談窓口を新たに開設します。6月10日に審査会を開催し、25件の事業に交付することを決定しました。

27年度 の状況

部 門	申 請		交 付	
	事業数	金 額	事業数	予定金額
重点分野 (上限 70 万円)	17	7,343,981 円	14	4,904,760 円
地域活動 (上限 50 万円)	18	4,106,690 円	8	1,295,240 円
研究成果還元 (上限 10 万円)	3	242,293 円	2	200,000 円
朝カフェ・区民提案プロジェクト	1	700,000 円	1	700,000 円
合 計	39	12,392,964 円	25	7,100,000 円

区基本計画の中間点検について

「左京はあとふるプラン」の中間点検は、区民アンケートやまちづくり活動をされている方等への聞き取り調査等により、計画の進捗よく状況や新たな課題を把握し、今後の事業に反映させていきます。区民アンケートは、地域団体の代表者約350名、一般の方々約1,000名に対して6～7月に実施します。まちづくり活動をされているの方々による意見交換ワークショップも開催します。これらの調査結果を元に、9月に開催予定の第2回会議で議論を進めていきます。

